

胎内消防署統合再編整備候補地の選定について



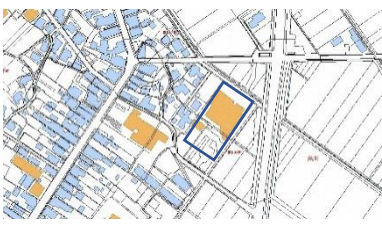


1 統合再編整備候補地の選定について

統合再編整備候補地の選定要件等（5つの視点）

- ・災害拠点施設として、消防・防災機能を効果的に発揮できる位置であること
- ・幹線道路へのアクセスが良好であること
- ・水害の浸水予想区域外であること
- ・訓練スペースを確保できる敷地ゾーニングが可能であること（4,000 m²以上）
- ・市有地などの公有地で経済的に優位性があること

2 統合再編整備候補地（市有地）

統合再編整備候補地については、土地取得費用を抑えることができる4箇所の市有地と1か所の工業団地区域とした。

No.	場 所	登記地積	位置図（イメージ）	備考
1	中条体育館跡地	約 4,000 m ²		隣接道路が狭い。 あかね町・築地方面 に向かう際、線路横 断するか、遠回りす ることになる。
2	嘉平山	4,000 ～7,000 m ²		土地造成
3	黒川出張所 ・黒川公民館	約 4,000 m ²		公民館解体
4	胎内消防署 ・上下水道課棟 (現在地)	4,090 m ²		上下水道課棟解体
※	鴻ノ巣工業団地	約 7,000 m ²		市有地ではない (土地取得要する)

3 統合再編整備候補地選定のための評価

(1) 評価項目

立地上の利便性のみならず、様々な要因から整理することとし、胎内消防署統合再編整備地の選定について（5つの視点）を踏まえて、評価項目（10項目）を定め、評価を行った。

評価区分	評価項目	評価の内容
1 拠点配置	1 バランス	市全域からみた地理的状況として、市中心部（人口重心）からの距離やバランスが保たれているか
	2 市との連携	市との連携は容易か。災害時の復旧支援活動や避難者救助活動が迅速に行えるか。
2 土地条件	3 面積・形状	十分な広さが確保できるか 平坦で間口や奥行が十分に確保できるか
	4 道路接続	消防車両がスムーズに出動できる幅員のある道路に接しているか
3 安全性	5 地震	地震に強い地盤であるか
	6 浸水	浸水など水害のリスクがないか
	7 土砂災害	土砂崩れなどのリスクがないか
4 経済性	8 造成、仮設庁舎など	地盤改良費や土地造成の必要がないか 新庁舎建設中の業務継続に係る経費は抑えることができるか
5 まちづくり	9 市上位計画との整合性	総合計画、新市建設計画、都市計画マスタープラン等、市の計画との整合性はどうか
	10 近隣への影響	建築物による住宅地等へ日陰、通風などの影響。サイレンや訓練など運用上の影響。通学への影響、景観性などはないか

(2) 評価者 市長、副市長、教育長、全課長

(3) 配点

- ・優れている (○) 10点
- ・普通である (△) 6点
- ・不十分である (×) 2点

4 統合再編整備候補地（評価結果）

評価の結果、もっとも点数が高かったのは、合計点数84点の「胎内消防署」であった。

「胎内消防署」は消防力の整備指針にある人口集中地区を包含していることから“拠点配置”において優れており、地域の防災拠点として評価できることから、統合再編整備地を「胎内消防署」とする。

評価区分	評価項目	配点	1 中条 体育館 跡地	2 嘉平山	3 黒川 出張所	4 胎内 消防署	※ 鴻ノ巣 工業 団地
1 拠点 配置	1 バランス	10	10	6	6	10	6
	2 市との連携	10	6	6	6	10	6
	計	20	16	12	12	20	12
2 土地 条件	3 面積・形状	10	6	10	6	6	10
	4 道路接続	10	2	6	6	10	10
	計	20	8	16	12	16	20
3 安全性	5 地震	10	6	6	6	6	6
	6 浸水	10	10	10	10	10	10
	7 土砂災害	10	10	10	10	10	10
	計	30	26	26	26	26	26
4 経済性	8 造成・仮設庁舎	10	10	6	6	6	6
	計	10	10	6	6	6	6
5 まち づくり	9 市上位計画との 整合性	10	10	6	6	10	6
	10 近隣への影響等	10	6	10	10	6	10
	計	20	16	16	16	16	16
合 計		100	76	76	72	84	80